

第7回 会津若松市環境大賞受賞者一覧

※ 敬称略

受賞名	部門名	個人・団体	団体等名	選考結果
環境大賞		団体	会津若松市立川南小学校	長年にわたり学校内の花壇のみならず、地域内の花壇についても児童自らが整備・管理するなど、地域と一体となって環境美化活動に取り組んでいることは非常に高く評価できる。また、各学年が様々な活動を通して、環境について主体的に学習することは、次代を担う子どもたちにとって重要な取り組みである。さらに、学校版環境ISOに参加し、学校からの環境負荷低減の取り組みに積極的に取り組んでいるなど、非常に高く評価できる。
	循環部門	個人	仁瓶 義勝	毎日、地域内の清掃作業を行うなど、地域の環境美化について積極的に実施している姿は高く評価できる。また、日新地区環境美化推進協議会会員として、地域の環境保全活動に貢献するなど、非常に高く評価できる。
環境賞	美化部門	個人	菊地 剛	地域内の河川の除草活動を実施し、河川水害を防ぐとともに、地域の環境美化に大きく貢献している。また、25年間の長年にわたり地道な活動に取り組む姿は高く評価できる。
		団体	エコの種	誰もが気軽に取り組むことの出来る緑化活動を企画運営することは、非常に素晴らしい取り組みである。また、この活動を通して、地域における緑化活動の輪が広がり、環境保全意識の啓発に繋がる活動である。
	環境教育部門	個人	渡部 洋子	長年にわたり地域の清掃作業を行うなど、地域の環境美化についての取り組みは高く評価できる。また、登下校時の子どもたちの安全見守り時に併せて、清掃活動を実施している姿は、子どもたちの環境保全意識の啓発に大きく貢献するものである。
		団体	NPO 環境保全会議あいづ (ECA)	地球温暖化防止に向け、様々な視点から環境活動に取り組んでいることは非常に高く評価できる。また、新エネルギーをテーマに環境教室を開催するなど、意識啓発に大きく貢献する活動である。